

2019年6月29日～2019年7月5日

2019年7月9日

先週の回顧

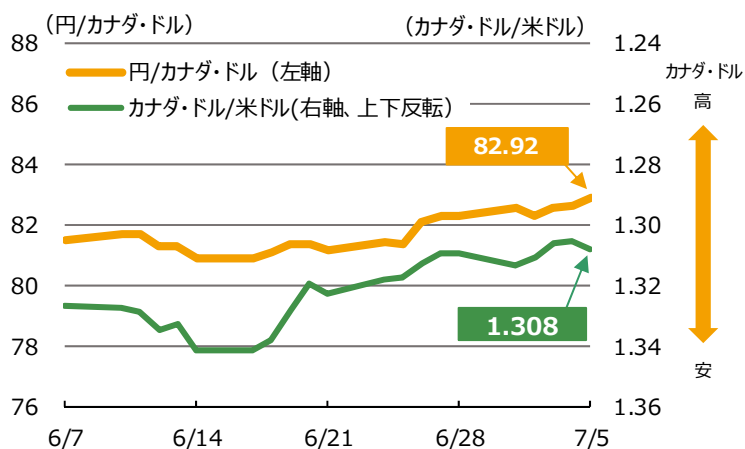
カナダ・ドルは、対円で上昇しました。また、カナダ5年国債利回りも上昇しました。

米国の雇用統計が良好な結果になったことを受けて、米債利回りが上昇したため、カナダの国債利回りは上昇しました。金利の上昇に連れてカナダ・ドルは対円で値を上げました。

カナダの経済指標では、貿易収支と雇用統計が発表されました。貿易収支は直近赤字が続いていましたが、自動車、金属鉱石及び航空品が輸出を牽引した結果、久々の黒字となり、カナダ資産にとってプラスの材料となりました。雇用統計に関しては、雇用者数は弱含んだものの、賃金上昇率が予想を大幅に上回りました。

カナダ・ドル 為替推移

(2019年6月7日～2019年7月5日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

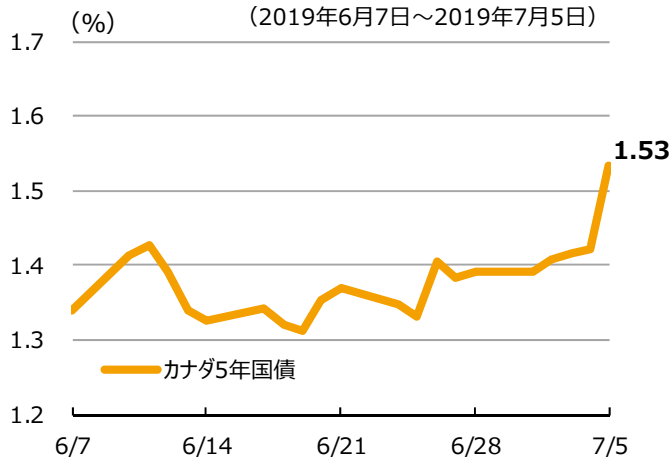
今週の見通し

今週、カナダでは住宅関連の指標の発表が複数予定されています。また、カナダ銀行（中央銀行）の金融政策決定会合が予定されており、政策金利は据え置き予想となっています。カナダに関しては、年内の政策金利据え置きの見方が優勢となっており、今後の金融政策についてどのような声明文を出すかに注目が集まります。

足元では、米国の良好な雇用統計を受け、米国の過度な利下げ観測が後退しており、米国金利が上昇しているため、カナダの金利、通貨を下支えすることが期待されます。

カナダ 金利推移

(2019年6月7日～2019年7月5日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。